



がんば

島原市立第三小学校
育友会報
発行部
広報部

【第99号】



追いつけるかな？ お父さん、お母さん

ミニ運動会……かけまわる猫とねずみ（6年）

子どもには深い愛情を



本田兼光

私は、愛護学級の子ども達が登校して来るのを毎朝教室で待っております。

朝、だれもない空っぽの教室ではなくて、「あゝもう先生は教室に来ている」という安心感を与えると同時に、学級の入口の戸を開け、「先生おはようございます。」と言って元気よくあいさつして来る子ども達に答えてやるためでもあります。ある子どもは、「先生ただ今。」と言って教室に入ってくることもあり、私も「お帰り。」と言って教室に迎え入れております。教室の中は家庭的な雰囲気があるのだと思います。子ども達が喜んで登校して来ることは、担任として、とても嬉しいことです。

愛護学級では、子ども一人ひとりの発達段階に応じて個別指導をしております。

学習課題をみてやっている時、子ども達と対話をしながら、「これも合っている。これもよく書けているね。」と言ってよい所を特にほめております。親や教師は、よく間違いが目につき、間違えばかりを指摘しがります。子どもにやる意欲を持たせるためには、よく出来たところをほめてやるべきです。私の学級では、どんな小さなことでも、よかったことは手をパチパチたたいてほめてやっております。ほめられると、またやろうという意欲が湧いてきます。

子どもとのふれあいは、朝のあいさつに始まり、帰る時は「きょうはよくがんばったね。またあしたね。」と言って一人ひとりに声をかけ、下校させています。

盛況だった父母参観

学級部長 相良 耕作

心配された天候も晴れ時々曇りで天も味方となり、お父さんお母さんも非常にたくさん参加していただきました。午前中の授業参観は先生方の大変な御苦心がひしひしと伝わって、参加の父母も満足の様子でした。

子供達の授業の様、給食風景を見学した後、午後からのミニ運動会は、子供と先生・親たちが一所懸命一つの事を協力し、競い合って大笑いの中で、親子のふれ合い、先生方と親たちのふれ合いが出来、やはり日曜参観は成功であったとほっとしました。

この様に、実現可能となった校長先生始め、職員の皆様との決断と御協力に感謝し、松尾会長、熊本推進委員長、推進委員、学年部長の役員の皆様のおかげらしい企画と実行までの御苦労に対して敬意を表

したいと思えます。

夜の部は、昼間のつかれも見せず、『先生方を囲む会』は百名を越す会員が集まり、食べ物等は十分ではありませんでしたが、先生方とのコミュニケーションは大いに広がり、色々な話題に花がさき、時が経つのも忘れるほど盛り上がり、先生方も初めて話を交わすお父さん・お母さん方との出会いに興奮の様子で、年頭初め校長先生のお話の中で、『一期一会を大切に』という事を、先生方お一人お一人が実践されておりました。

会の時間も、最後の小川教頭先生の万才三唱の後も一時間半位帰る人もなく、司会者としてはうれしい悲鳴を上げておりました。

又、来年ももっと盛り上がり出て出来る様、校長先生始め先生方にお願ひ致します。

お父さんのお母さんのこえ



冷や汗の父母参観

六年 P

川口 克樹

子供のクラスは、国語の授

六年生にもなると、見ていないようでなかなか冷静なんだなあと意外な一面を発見した参観でした。

ミニ運動会も大成功で、貴重な一日を企画して頂きありがとうございました。

父母参観日の感想

五年 P

荒木 修

父母参観日が日曜日に来るこの計画は、私の知る限りもう三〜四年前からのことではなかったかと思えます。各方面の方々の努力の賜で、やつと念願の日曜日父母参観が実現されました。

この間、子供達との食事の場所の問題などや、ミニ運動会の行事内容の嬉しい事や楽しい事がありました。

開催当日、寒空の中、午前中の授業参観後、午後からのミニ運動会等すばらしくとても感動的でした。

松尾会長からの挨拶の中、感動という言葉が表現された時には、長期間にわたる夢が実現出来て本当に良かったと思えました。

これからも第二回、第三回と実現させてもらいたいと思います。各方面の方々本当にご苦労様でした。

心は ホッカロン

二年 P
青木桂子

十一月二十七日、日曜日の肌寒い日、待望の父母参観日です。日頃忙しいお父さんと、一日中学校で一緒という事で、子供達は大喜びです。

一年三組の親子ドッジボール。四年三組の理科の実験。五年一組の楽しい音楽など、午前中はリレー式の授業参観でした。

子供達それぞれの成長を、主人も私も胸一杯の感動の気持ちで見守りました。



昼食は、各教室で楽しく食べました。そして、昼からはミニ運動会です。童心にもどり、本気になって頑張った赤白玉入れ。ヘルメットをかぶったお父さんに一輪車を押ししてもらい、うれしそうに得意そうに乗っていた子供達の顔など、各学年での競技がおもしろく、最後の全校ダンス(アブラハムの子)は最高に楽しくて、心はホカホカ……ホッカロンの一日でした。



満足だった 子ども

二年 P
藤原国喜

月々の参観日のたびに、「来て来て」と子どもにせがまれながら行ってやれませんでした。そんな時、子どもも不満であったのですが、この日は朝からご機嫌で、家に

帰ってからも大満足の様子でした。そして、「またあったら絶対来てね」と言っていました。

子どもの学習の様子を見る機会の全くない父親にとって、日曜日の参観を計画して下さったことに深く感謝申し上げます。

わが子を見る 目の輝き

四年 P

松崎 由美子

色々な問題をクリアしてようやく実現した「日曜日の父母参観」初めての試みとあって、推進会でもすいぶん討議されていましたが、大盛況のうちに終ることが出来、感激しました。

とかく母親まかせのお父さん方も、今日ばかりは熱心に我子を見る目の輝きが真剣そのものでした。これを機会に、親と子の触れ合いの場を多く

日曜参観の感想

愛護 P

内田 佳代子

本音を言うと、当日まで月曜を代休にしてまで日曜を参観日にしなくても良いのに、この行事には少し反感を持ってました。ところが、日曜日というところで、いつもお母さんばかりなのに、今回はお父さんや小さな弟・妹も大勢きていたのが、家族参観みたいでとてもいいなと思いました。

ミニ運動会も、寒い中にもかかわらず、大人も子供もここにこちで見られ、私もとても楽しく参加させてもらいました。

書けなかった 作文

三年 P

広瀬 由美子

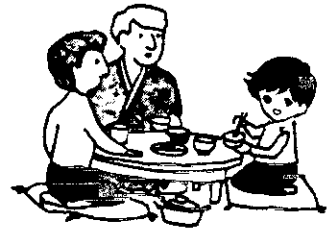
わが家のお父さんが、子どもとの触れ合いの大切さを本気で考えるようになったきっかけは、息子が二年生の時、宿題に出た作文でした。愛す



ユーモラスな全員ダンス

る父親の事を書こうと決めて「ほくのお父さんは…」と書き始めたまではよかったのですが、その後がどうしても続きません。考えあぐねた末、彼はボソッとつぶやきました。「お父さんの作文は書ききれん。ほくはお父さんといっしょにおらんけん、お父さんの事はなんも知らんもん。」
考えてみると、うちの父親はすれ違い親子です。子ども達の生活時間帯に父親は家に居ません。子ども達の幸福を願って毎晩遅くまでがんばっている父親にとつて、この一件はかなりショックだったやうで、以来、日曜日は子ども達と散歩に行ったり、キャッチボールをしたり、たまには近所の子も誘ってサイクリングに出かけたりと、いっしょに過ごす時間を大切にしています。
お父さんとのスキンシップは、大人になって子供時代を思い出す時、きっと子ども達の胸を暖かくする事でしょう。今日の父母参観日の一コマ

子ども達のこえ



緊張した 授業参観

六年一組
下田悦子

三校時のチャイムがなり、

「うれしいがかかった。私は、「どうとう父母参観がきた」と思った。科目は算数。いつもは仕事でだれもこないからきんちようしないけど、今日は父も母もくるからきんちようが続いた。

授業中、私は一度もうしろをみなかった。先生の言葉とともに、時計のはりも進んでいく。あつというまにチャイムがなり、三校時がおわった。最初はきてほしくなかったが、たまには私の勉強もみてもらいたいと思った。

楽しかった 親子わらじ

六年組

古瀬 友子

わらじ作りをしていると、中にお父さん・お母さんがきていっしょにつくったときは、お父さんが授業参観にはじめてきてくれたのでとつてもうれしかったです。そして、お

や子でなわをつくりとおして
いくとき、ごちやごちやにな
って、お父さん・お母さんが
なおしてくれたので、やっぱ
りお父さん・お母さんがきて
授業をうけたり、おや子です
るのはいいなとおもいまし
た。

またこんど、こんなのがあ
ればいいのになとおもいま
した。

お父さん

ありがとう

一年一組

たけしたかなこ

おとうさんは、いつもいそ
がしそうにしているの、さ
んかんにきてくれるかどうか
しんぱいでしたが、おかあさ
んがすいしんいんだったの
で、きてくれるとおもって
いましたが、かおをみてほっ
しました。

しかし、じゆぎようがはじ
まると、おとうさんがきにな

り、こたえがまちがっている
とはずかしいので、なかなか
手があがりませんでした。
でも、やっぱりおとうさん
がきてうれしかったです。

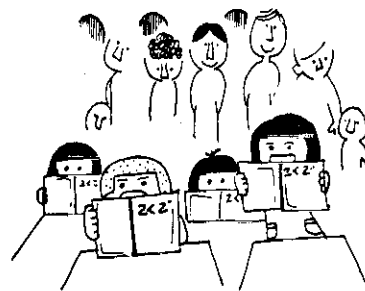


一年二組

さとう あきこ

おとうさんがじゆぎようさ
んかんにきたからはずかし
かった。すこしはずかしかった
けど、あとからははずかし
なかつたです。おとうさんと
おかあさんたちがハーモニカ
をふいたときは、とてもじょ
うずでした。でも、まちがえ
たりいつときやすんだりした
ときがありました。わたし
ちがじょうずだったかなあ
とおもいました。でも、どっち
ともじょうずだったみたいだ
つたです。

らいねんのふぼさんかんの
ときにも、せひきてください。



学校給食 調理研修会

保健給食部長

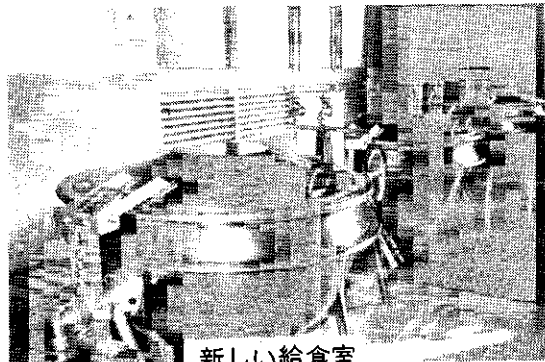
近藤 美代子

去る十一月十四日、三・四
年生の御父兄を対象に保健給
食部の計画で、学校給食調理
研修会を実施致しました。

三十二名のお母様方が参加
され、調理実習後、楽しく試
食、懇談し、有意義な一日を
過ごしました。



講師には、島原市教育委員
会学校教育課に勤務されてい
る栄養師の前森聖子先生をお
招きしました。先生は、学校
給食をおもに担当しておられ
ます。実習立は、実際学校
給食の献立の中にある物から
六種選んで実習致しました。
懇談では、次の様な事をお
聞き致しました。今、学校給
食は、教育の一環として実施
されています。



新しい給食室

事を撰るにより、健康
の増進を図るとともに、望
ましい食事の在り方を知る。
○子供間、教師と子供の好ま
しい人間関係が育成される。
○基本的な食事のマナーや衛
生的な習慣が身につく。
○当番や係活動を通して、協
調性が養われる。
と言う事でした。

前森先生のお話しを聞かれ、
学校給食についてより一層、
御理解頂けた事と思えます。

研修視察を終えて

教養部長 荒木 修



鳴鼓小学校での意見交換

じてしかたがないですねと慰められ、ようやく中型バスを借りなおして出発することができました。(実際は二十名でした)

日程は、午前中が学校訪問で、相手校の育友会の方々と活発な意見が双方から出されました。その後、学校内の視察をいたしましたところ、文部大臣賞を受けられた学校だけあって、花壇の整備や、ほだして運動できるグラウンドや、各教室に設置された南みぎき棚等がひとときわ目立っていました。

学校側のアイデアとしては、玄関横にカプセルの丘と名付けて、卒業生の記念の品を埋めていたのも驚きでした。

十月十三日(木)本校教養部主催による育友会研修視察が、長崎の時津町にある鳴鼓小学校へ訪問する予定となりました。

当初、大型バスをチャーターしているところから、五十〜六十名の参加者を予想しておりましたが、書面内容や計画内容が悪かった為か予想をはるかに下回り、その時はどうなることや心配しましたが、本年の教養部長の軽い頭の中から考え出した計画に免

林田先生を交えて協議した結果、参加人員は少なかつたものの参加者全員価値ある一日を過ごしていただいたと思っております。あらためて誌面をお借りしてお礼申し上げます。ありがとうございます。

自然とふれあった宿泊訓練



五年一組 徳永美幸
今日は、諫早少年自然の家に行く日です。わたしが、一番楽しみにしていたのは、星を見ることでした。わたしは、

星を見るのが大すきだからです。夜、夕食をすませて外に出ました。夜空には、たくさん星の星がありました。

天体ほうえんきょうで、すばる、もく星などを見ました。もく星には、二本の線みたいなのが入っていました。せつめいを聞いていたら、いろいろな星の名前がでてきました。はくちようざ、へびつかいざ、ことざ、わしざ、イルカざ、カシオペアざ、火星、もく星など、まだまだたくさんありました。こんなたくさん星も、何百億年、何千億年すれば、太陽にのみこまれるそうです。わたしは、星のことで少しわかったので、よかったですなあと思いました。

こんど、図書館などで、星のことについても勉強してみようと思います。

五年三組

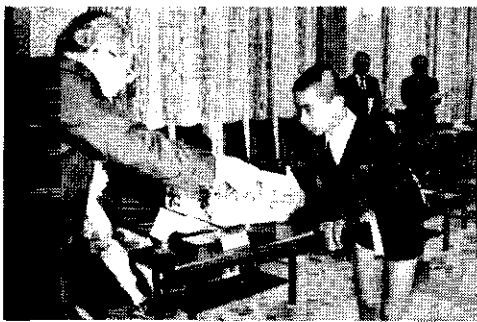
池田 健 二

十一月八日、学校を出発して、思ったより早く諫早少年自然の家に着きました。

ほとくの想像していた自然の家は、丸太小屋みたいな建物で、庭もなく周りは人もいないみたいなのだと思っていたのに、きれいな建物だったので、びっくりしました。

着いてすぐ、うぐいす谷コ

子ども銀行表彰されました



児童会長の荒木君

バスをハイキングしました。急な下り坂ばかりで、とても歩きにくかったけど、とちゅうで沢を見つけたので、入って見ました。とても冷たくて気持ちよかったです。少し高い所で休けいして、周りの景色を見わたすと、足がすくんどてもこわかったです。自然の家に着いた時は、もうくたくたでした。

次の日、ウォークラリーをおえ、荷物を持ってバスに乗ると、楽しかった事がいろいろと思いつけられ、もう少ししたいなあと思いました。



のびのび少年デー

十一月十二日(土)

元村 浩子 先生

今年も十一月十二日、島原文化会館で、第九回島原市民音楽祭が行われました。三小は、五年生全員による器楽合奏で出場し、たてぶえの二重奏を中心とした「アメリカンモーニング」と、それぞれの楽器の特徴を生かした「ウィリアムテル序曲より、スイス軍の行進」の二曲を演奏しました。

初めてふれる楽器にとまどっていた子どもたちが、朝早く、誰もいない音楽室で練習したり、毎日毎日、昼休みに練習を続けたり、注意散漫だった子どもの目が、だんだん真剣になっていくのを見て、子どもの力はすばらしいと、あらためて感じました。また、五年生担任の先生方をはじめ、他の先生方や御父兄の方の御理解と御協力のおかげで、練習もスムーズに進めていくこ



二年 「汽車に乗ろう」



一年 「落葉拾い」

とができました。一四一名が心を合わせて、音を合わせて演奏するのはむずかしいのですが、本番では、それまでの練習を充分に発揮した演奏ができたと思います。



三年 「自転車教室」



四年 「あきかん拾い」



六年 「児童公園の清掃(右)」「チューリップの球根植え(左)」

三小あいの町・136町

浜の川の

子供達

白土桃山二丁目

太田 一 豊

私達の町内は、浜の川と言った方が皆様は、ピンとくると思います。どちらかというと、古くから住んでいる人が多く、良しにつけ悪しきにつけ、「この子はどこの子」とすぐにはわからないです。そのおかげかどうか、悪い子がいない？みたいです。
白土桃山二丁目、男子十四



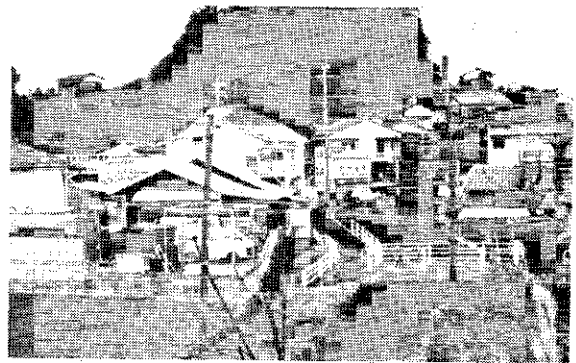
有名な銀水通り

町内と子供会

西八幡町
荒木 潤 一

この数年の間に私達の町内も、随分と様変わり致しました。学校から帰ると、カバン置くのももどかしく、外に飛び出しては遊びに現を抜かして居ました。今の子供達は、交通量は激しく遊べる広場は無

名、女子九名で、十八世帯という小さな町内です。何をやるにも、ギリギリの人数で、とうとう今年の女子のフットベースボールは合併となり、男子にしても、勝ち負けは問わず、一年生も全員参加しました。
球技大会、親子フットベースボール、すもう、育友会バレーと、交替要員もいない少ない人数の中で、参加することと意義がある」の言葉どおり、本当に参加だけはしてきませんでした。ただ、他の町内と違って、お父さんの参加が少ないのが残念でした。



三小のすぐ西側の町

素直で明るい 子どもたち

白土桃山一丁目
前 森 繁 康

いつものようにジョギングをしていると、「こんにちは。」と少年たちの声がとんできた。わたしは、手をあげてそれに応えた。素直で明るいわが町白土桃山一丁目の子どもたちである。

白土船津上と桃山が合併した白土桃山一丁目は、地理的にも広範囲で、町のはずれが二小校区の弁天町に隣接している。

にもかかわらず、世帯数二十五、子どもたちの数は、男子二十二名、女子十二名、計三十四名の少人数で、したがって、全体的にややおとなしい感じがしないでもないが、

し、只春から秋にかけての球技練習が唯一の楽しみみの様です。親達も出来るだけ協力する様努力はしましても思いにまかせませんが、町内の方々が手を差し延べて下さいます。魔品回収時も自主的に協力して頂き、子供会行事等も、自分達の体験を通し、惜しみなきアドバイスを頂きますので、多忙な親達も子供達とのコミュニケーションをはかる事が出来るのです。

年末年始のイベントも、町内の方々の助言を仰ぎ、子供達との思い出作りを行いたいと思つて居ます。



昔桃畑！今は通学道路

編集後記

なにしろ素直で明るいのが一番である。
そんな子どもたちの元気なあいさつのおかげで、わたしのジョギングも爽快なものとなる。

県P大会で大村市長の挨拶に、「PTAとは一体何だろうか私はタクシーの中で考えました。父母と先生とその会の英語の頭文字の略だということとは皆さん既に御承知でしょうが、もう少し深く考えましたら、Pはペイシエント(忍耐)、Tはトレーニング(訓練)、Aはアクション(行動)、すなわち、忍耐強く学習あるいは練習をし、そして行動をする事がPTAであると私は思います。」と述べられました。偉い人はすばらしい発想をされるなあと思いました。

今年、日曜日に父母参観日が実施されました。ミニ運動会が終了後、感動されたのか、目にゴミが入ったのか、入江副会長さんの大きな目に涙が浮かんでいたのが印象的でした。
がんば99号をお届け致します。御意見・御感想をお寄せ下さい。